令和５年度地域資源活用・協働促進事業シンポジウム

つくる そだてる ねづかせる 地域づくり

参加無料

地域連携アドバイザーから助言や支援を受けれる事業が今年も始まります。

地域資源活用・協働促進事業は、地域コミュニティ組織やNPO法人等、持続可能な地域づくりに向けて活動する団体に対し、各団体の課題に対応した地域連携アドバイザーを派遣。専門的知見からの助言・支援を受けることができる事業です。

日 程　令和５年７月17日(月) 13:00～17:30 (受付12:30～)

会 場　かごしま県民交流センター３階　大研修室第１

対 象　地域の課題解決のために活動をしている団体、
地域課題解決に向けた新たな取組を始めたい団体 など

学べること
- 地域づくりの考え方
- 協働の生み出し方
- 地域資源の生かし方
- 持続可能な活動の進め方

こんな方へ
- 地域づくりに興味・関心がある
- 新しく活動を始めたい
- 活動への行き詰まりを感じている
- 新しい考え方やアドバイスが欲しい

申 込

応募フォームもしくは、下記メールアドレスに必要な項目を記入して申し込みください。　申込期限：7月7日(金)

＜必要な記載事項＞

① 氏名　② 所属　③ 電話番号　④ メールアドレス　⑤ 参加のきっかけ
⑥ 取り組みたいこと　⑦ 第二部で参加したいテーマ(２つまで)

メールアドレス　：　p-kyodo@pref.kagoshima.lg.jp

応募フォーム

※ 詳細は、参加希望者へ事前にお知らせいたします。
※ 応募者多数の場合は抽選を行います。電話番号やメールアドレスは記入間違いがないようご注意ください。

主　　催　鹿児島県
問合せ先　鹿児島県共生・協働センター（かごしま県民交流センター１F）　担当：岩元
TEL：099-221-6605　FAX：099-227-2247　mail：p-kyodo@pref.kagoshima.lg.jp

想いを、カタチに。

本シンポジウムは、様々な地域や団体の協働により地域資源の利活用を図ることで、持続可能な地域づくりの取組を促進するために実施するものです。
鹿児島県内では、地域コミュニティやNPOなど、既に様々な団体が魅力ある地域づくりに取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響等で地域の課題はますます深刻になっています。
そこで『新しく地域課題解決のために動き出したい』『これまでと違う分野での課題にも取り組みたい』など新しく『挑戦したい』方と既に『実践者』として活動している方々が出会う場を提供し、地域資源の利活用による持続可能な地域づくりの取組を応援したいと考えました。
本シンポジウムに参加し、『想いをカタチ』にするためのヒントや気付きを得て、みなさんの新しい活動につなげていただければ幸いです。

当日のプログラム

【第一部】パネルディスカッション　～事例紹介を通じて『自身の活動』を考える

活動事例発表者

日置市吹上町和田地区公民館
館長　山之内 修、黒木 智大

「ずっと住み続けたい地域」を目指し、吹上町和田地区の魅力の情報発信に取り組んでいる。ＨＰを通した情報発信，物産館「お肉の直売所 吹上 ひまわり館」を活用した地域特産物の創出、高齢者の見守り活動や健康づくり、放課後児童クラブの運営等幅広く取り組む。

志布志市潤ケ野校区コミュニティ協議会
地域支援員　川崎 桃子

多様な主体による自主的、主体的な地域活動により、潤ケ野小学校区における共通の課題解決を図り、「活力と潤いに満ちた結の潤ケ野」の構築を目指して活動している。協議会に未来創造部（若者の部）ができたことで、若者も積極的に参加する。

【第二部】地域連携アドバイザーや参加者との交流会　※分科会方式
～『想い』を話し合い、カタチにするヒントを得る

■テーマ１　始める・繋げる　～　はじめの一歩の見つけ方　～

村上 裕希
一般社団法人E'more秋名 代表理事
2018年、一般社団法人「E'more（いもーれ）秋名」を地域住民有志と設立。空き家を活用した一棟貸の他、町立の飲食宿泊交流拠点「荒波のやどり」の指定管理業者として地域資源を生かした体験型観光や、インターン等外部人材導入のコーディネートを実施。

鈴木 芳乃
御菓子司鳥越屋　代表取締役社長
大正８年創業の菓子店「鳥越屋」４代目店主。人口が少なくなってきている湯の浜地域で、指宿の地域や観光客に少しずつでも還元したいという思いから、お店に人が集まる空間を設け、リニューアルを行った。摺ヶ浜の摺若会（若手会）会長を務める。

■テーマ２　活かす・創る　～　地域資源の利活用　～

加藤 潤
特定非営利活動法人頴娃おこそ会 副理事長
「地域総力戦のまちおこし」を合い言葉に、番所鼻自然公園などの地域資源の発掘・活用・マップ作成、商店街の古民家再生等、地域に根ざした幅広い分野のまちづくりに取り組む。

山本 美帆
株式会社しまのみなと 代表取締役
夫の転勤を機に移住した奄美大島で，空き古民家を改修したコミュニティ＆チャレンジスペース「HUB a nice d!」をオープン。飲食事業の小商いや子育てママの居場所づくり等を通して多世代間交流や創業の支援を行う。鹿児島市と奄美大島での２拠点生活実施中。

■テーマ３　関わる・続ける　～　事業継承のポイント　～

太田 敬介
特定非営利活動法人SCC　理事長
総合型地域スポーツクラブ運営を通して、高齢者・初心者も取り組みやすい教室から、オリンピック出場を果たす教室まで幅広く手掛け、スポーツイベント開催を積極的に行う。PTA活動や保護者と教師が協力して教育活動を進める取組も展開中。

下吹越 かおる
特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」理事長
保育士、読み聞かせボランティアなどの経験を生かし、平成20年度から指宿市の指宿図書館館長を務める。指定管理者として図書館の運営をしながら、クラウドファンディングに挑戦し、「文化×まちづくり」をしかけている。

全体進行

市村 良平　**株式会社スタジオグッドフラット　代表取締役**
島根県生まれ。企画・プロデューサー。大学進学を機に鹿児島へ。鹿児島県内で地域づくりや社会課題（中心市街地活性化、公共空間活用、男女共同参画、子育て支援など）の解決に向けた取り組みをサポートする事業を行う。地域・社会で、ヒト・モノ・コトが活躍するフラットな環境づくりに取り組む。